

●演習ワークシート

演習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1

症例：80 歳，女性

重症急性膵炎に対して加療を受けた。

右下腿の末梢静脈ルートから，メシル酸ガベキサートが投与されていた。投与後，点滴部位が潰瘍化し，近医で軟膏処置を行ったが改善が見られなかった。



演習課題 1

写真から読みとれる所見を述べてください。

演習課題 2

写真から読みとれる所見に対し，通常の血管外漏出対応以外に，必要な対応を述べてください。

演習課題 3

静脈ルート穿刺部位は適切であったか述べてください。

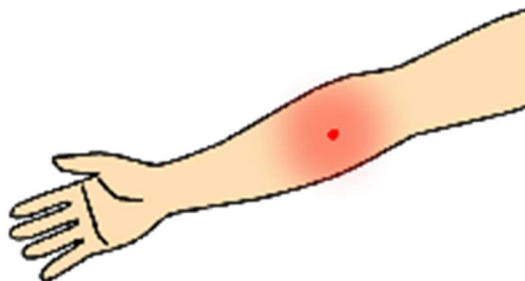
●演習ワークシート

事例 2

症例：65 歳，男性

幼少期の熱傷受傷部位に生じた皮膚有棘細胞がんの肺転移に対してシスプラチン・アドリアマイシンによる化学療法を受けている。

これまでに 10 コースの治療を受け，本日も通院治療センターで同レジメンを施行予定であった。



点滴開始から 10 分後，患者より点滴刺入部の痛みの訴えがあった。
患者を担当しているあなたは，同部位に発赤がみられていること確認した。

演習課題 1

この状況で、対処策を考えるために確認すべきことや、初動として行う行動について、記述してください

演習課題 2

壊死起因性抗がん剤が漏出したことがわかったとして，局所処置としてとるべき対応を記述してください。